8 型 Android タブレット

TH805

取扱説明書

ThinPAD International CO.,LTD 2015/06 Rev.1.0

はじめに

『TH805』（以下、本機）は、3G 通信モジュールを搭載したタブレット端末です。

『8 型 Android タブレット TH805 操作手順書』（以下、本書）では、本機の機能、スペックおよびお客様がご利用になる際の利用方法について説明します。

※　本書に記載の内容は予告なく変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご利用いただくにあたって

■　サービスエリア内であっても屋内や地下駐車場、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは通信が出来ない場合があります。また、サービスエリア内であっても、地域的に電波の伝わりにくい場所もありますのでご了承下さい。

■　電波を利用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんのでご留意下さい。

■　3G 通信端末は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。

免責事項について

■　地震、雷、風水害および当社の責任以外での火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■　本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（情報の変化、喪失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

■　取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■　本機は 3G 通信キャリアが提供する 3G 通信網を利用して通信するため、使用される場所の 3G 通信網、及び機能の組合せにより、通信できない場合があります。その場合、通信できないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■　GPS の使用用途に規制及び制限がある国があります。ご利用の国や地域の規制に従ってお使いください。

■　本機の型式によってご利用できない国があります。使用可能国以外での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

TH805　製品型式	ご利用可能国
TH805	日本

安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために、必ずお読み下さい。

この「安全上のご注意」には、本機を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

各事項は以下の区分に分けて記載しています。

安全上のご注意

危険	警告	注意
この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

図記号の説明

この図記号は、行ってはいけない「禁止」内容を示しています。

この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

本機の取り扱いについて

危険

外部電源装置を使用する場合は、仕様に適合した電源、コード、コネクタを使用して下さい。

指定品以外のもの、または仕様に適合しない電源を使用した場合、発熱、故障、感電、火災などの原因になります。
当社指定の充電器以外を使用する場合は、巻末の電源仕様を参照し、仕様に適合したもののみをご使用下さい。

接続端子をショートさせないで下さい。また、接続端子に導電性異物（金属片や鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにして下さい。故障や火災などの原因となります。

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置はしないで下さい。

火の中に投入したり、加熱したりしないで下さい。発熱、火災、破裂などの原因となります。

警告

発煙、異臭などの異常が発生したり、内部に異物が侵入したり、水などがかかった場合には、
直ちに次の作業を行って下さい。

（1）充電器をコンセントから抜く

（2）本体の電源を切る

そのまま使用すると、発火などの原因となります。

航空機内や医療施設など、使用を禁止された区域では本機の電源を切って下さい。
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関における使用については
医療機関の指示に従って下さい。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは本機の電源を切って下さい。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないで下さい。
故障、火災の原因となります。

水などの液体をかけたりしないで下さい。故障、火災、感電の原因となります。

引火性ガスが発生する場所では使用しないで下さい。爆発や火災の原因となります。

分解や改造をしないで下さい。故障、発火、感電、傷害の原因となります。

注意

お手入れは乾いた柔らかい布で行って下さい。濡れた雑巾などで拭くと故障の原因となります。	コネクタ類の抜き差しを行う時は、本機の電源が OFF になっていることを確認して下さい。
以下のような場所で使用する際は、各々遮へい対策を十分に施してください。 ・ 静電気などによるノイズが発生する場合 ・ 強い電解や磁界の生じる場所 ・ 放射能を被ばくするおそれのある場所 ・ 電源線が近くを通る場所	
移動する時はケーブル類を取り外して下さい。コネクタ部に無理な力が加わり、故障の原因となります。	コネクタ部のピンに触れたり、無理な力を加えたりしないで下さい。故障の原因となります。
極端に高温、低温となる場所では使用しないで下さい。 仕様に適合した環境条件の範囲でご使用下さい。	湿気、ほこりの多い場所、腐食性の雰囲気では使用しないで下さい。
エアコンの吹き出し口の近くに置かないで下さい。	電話機やテレビ・ラジオ等の近くで使用すると影響を与える場合がありますので、離れた場所でご使用下さい。
強い磁界の中や腐食性ガスの中、または海の近くなど潮風に当たるような場所で使用したり保管したりしないで下さい。	お客様による修理などは危険ですので絶対にしないで下さい。
乳幼児の手の届く場所には置かないで下さい。	製品の上に乗ったり重いものを載せたりしないでください。

充電器の取り扱いについて

警告

充電器は必ず規定電圧範囲内でご使用下さい。誤った電圧で使用すると、感電、火災、故障の原因となります。	電源プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。差し込みが不完全な場合、感電や発熱、火災の原因となります。
電源プラグについたほこりは拭き取って下さい。火災の原因となります。	万一、水などの液体が入った場合には、直ちに充電器をコンセントから抜いて下さい。発熱、感電、故障の原因となります。
濡れた手で充電器やコンセントに触れないで下さい。感電の原因となります。	通電状態で電源端子に手や指など身体の一部が触れないようにして下さい。感電、傷害、故障の原因となる場合があります。
分解、改造をしないで下さい。 感電、火災、故障の原因となります。	電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないで下さい。感電、火災の原因となります。
充電器を濡らさないで下さい。また、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しないで下さい。 発熱、感電、故障などの原因となります。	充電器の電源コードが傷んだら使用しないで下さい。火災や感電の原因となります。
雷が鳴り出したら電源プラグに触れないで下さい。感電の原因となります。	長時間使用しない場合、電源プラグをコンセントに差したままにしないで下さい。感電、火災、故障の原因となります。

注意

清掃する際には、必ずコンセントから充電器を抜いて下さい。 感電の原因となります。	電源コードは必ず電源コネクタを持って抜いて下さい。 コードを引っ張ると、コードが傷付き、感電や火災の原因となります。
使用中は、充電器を安定した場所に置いて下さい。 また、布や布団で覆ったり、包んだりしないで下さい。 熱がこもり、火災、故障の原因となります。	

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は、日本国「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（平成 26 年 5 月　総務省）、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」（平成 26 年 8 月 19 日　電波環境協議会）に準拠したものです。

警告
植込み型医療機器を装着されている方は、植込み型医療機器装着部から本装置およびアンテナまでの距離を 15cm 以上離して携行および使用して下さい。
満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がありますので、本装置の電源を切って下さい。
医療機関の屋内では次のことに注意してご使用下さい。 ・ 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないで下さい。 ・ 病棟内では本装置の電源を切って下さい。 ・ ロビー等であっても付近に医用電気機器がある場合は本装置の電源を切って下さい。 ・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従って下さい。
医療機関の外で、植込み型医療機器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカー等にご確認下さい。

目次

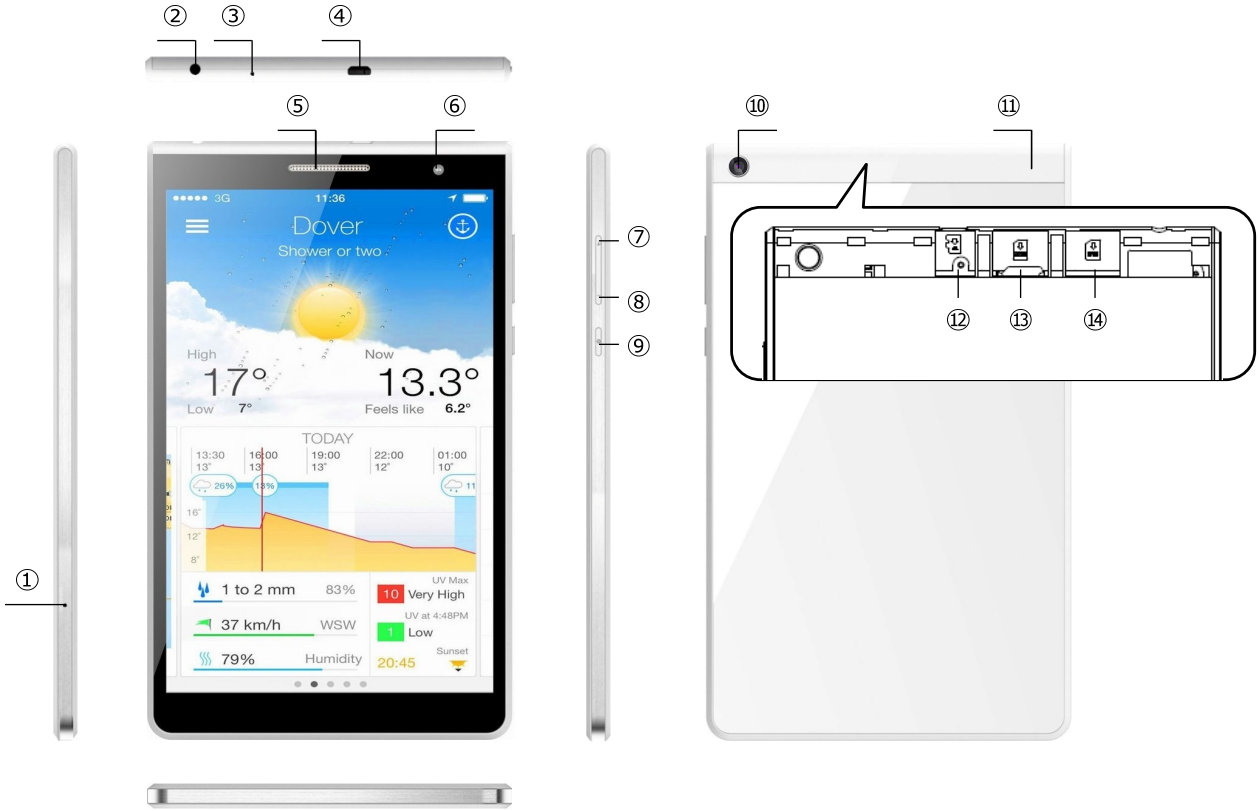
はじめに ii
ご利用いただくにあたって ii
免責事項について ii
安全上のご注意 iii
安全上のご注意 iii
図記号の説明 iii
本機の取り扱いについて iv
充電器の取り扱いについて vi
医用電気機器近くでの取り扱いについて vii
目次 viii
お使いになる前に 1
各部の名称 1
バッテリーの充電 2
電源オン/オフ 2
初期設定 3
Google アカウントの新規登録 3
基本操作 10
タッチスクリーン 10
タッチスクリーン利用上のご注意 10
タッチスクリーン上の操作 10
ナビゲーションボタン 10
画面の自動回転 11
文字入力 12
入力方法(キーボードの種類)を切り替える 12
通知とステータス 14
システムアイコン 14
通知アイコン 14
通知シェード 14
設定 15
設定メニューの表示方法 15
Wi-Fi 16
Wi-Fi に接続する 16
Wi-Fi を切断する 18
Wi-Fi 機能のオン/オフを切り替える 18
マナーモード 18
電源ボタンによる操作 18
「設定」による操作 19
音量ボタンによる操作 20
機内モード 20
電源ボタンによる操作 20

「設定」による操作 21
主な仕様 23

お使いになる前に

各部の名称

本機の各部の名称を以下に示します。



①	マイク	⑧	音量－ボタン
②	3.5mm イヤホンジャック	⑨	電源/ロックボタン
③	リセットボタン	⑩	背面カメラ
④	Micro USB ポート	⑪	SIM/Micro SD カードカバー
⑤	スピーカー	⑫	Micro SD カードスロット
⑥	前面カメラ	⑬	SIM カードスロット 1
⑦	音量＋ボタン	⑭	SIM カードスロット 2

バッテリーの充電

最初に、お買い求め頂いた際には充電が完全にされた状態ではありません。開梱後、すぐにバッテリーを充電されることを推奨します。

Micro USB ケーブルの小端部を本機上部の Micro USB ポートに接続します。それから、もう一方の端を充電器に接続し、充電器を電源コンセントに接続します。

完全に充電されたら本機から Micro USB ケーブルを外してください。最初にケーブルを外し、その後に充電器を電源コンセントから抜いてください。

- 電池残量が少ない場合、空の電池アイコンが表示されます。
- 電池残量が完全にゼロの場合、充電器を接続しても本機はすぐに起動できません。電池が充電されるまで数分間待って、本機を起動してください。
- Micro USB ケーブルの挿入方向にご注意ください。誤った方向で挿入すると、本機が破損する場合があります。
- TH805 に付属の充電器と Micro USB ケーブルのみ使用してください。指定以外の充電器またはケーブルを使用すると本機が破損する場合があります。
- 最適な電源は付属されている充電器です。その他の電源(ノートパソコンなど)を使用すると、本機が破損する場合があります。
- 充電中は本機を使用しない方が早く充電が済みます。
- 充電器の入力電圧の範囲は AC100V～240V で、出力電圧は DC5V、2A です。
- TH805 のバッテリーは取り外しできません。本機を開けようとしないでください。
- エネルギーを節約するために、使用していないときは充電器を抜いてください。充電器には電源スイッチがありません。したがって、電力の浪費を避けるために、使用していないときは電源コンセントから充電器を抜くことをお勧めします。

電源オン/オフ

本機の電源をオンするには、本機右側面の電源ボタンを 2～3 秒間押したままにします。

本機の電源がオンのとき、電源ボタンを再度押して、スリープモードに入るか、スリープから復帰させます。

本機の電源をオフするには、確認ダイアログが表示されるまで、電源ボタンを押したままにします。「電源を切る」をタップしてから「OK」をタップして、シャットダウンさせます。

本機を再起動するには、確認ダイアログが表示されるまで、電源ボタンを押したままにします。「再起動」をタップしてから「OK」をタップして、再起動させます。

サードパーティーのアプリケーションをインストールすると、異常な動作を引き起こし、本機が動作しなくなる場合があります。その場合は、ピンなどの先の細いもので本機上部のリセットボタンを押すことで、端末を強制的に電源オフさせることができます。

- リセットボタンを押しても、データや設定は消去されません。
- リセットボタンを押すと、操作途中のデータや設定は保存されない場合があります。

初期設定

最初に本機の電源をオンすると、ようこそ画面が表示されます。使用する言語を選択し、▶をタップし、画面上の指示に従います。

一連の画面により、設定プロセスが進行します。既に Gmail アカウントを持ち、入力を求められた場合は、既存のアドレスとパスワードをご利用ください。Gmail アカウントまたはその他の Google アカウントをお持ちでない場合は、まずアカウントを作成してください。

設定ウィザードの一部をスキップした場合、新しいアカウント(Gmail アカウントを含む)を設定して、後からいつでもその他の未設定の部分を調整することができます。ホーム画面からアプリアイコンをタップし、設定アイコンをタップします。

Google アカウントの新規登録

Gmail や Play ストアなど Google 社が提供するサービスを利用する際に、メールアドレスとパスワードで構成される Google アカウントが必要となります。Google アカウントをお持ちでない場合は、Google サービスの利用が制限されるため、本機から Google アカウントを新規で作成し登録を行ってください。

Google アカウントを新規登録するには、初期設定時に登録する方法、Play ストアなどの Google サービス利用時に登録する方法、本機の「設定」画面から登録する方法があります。

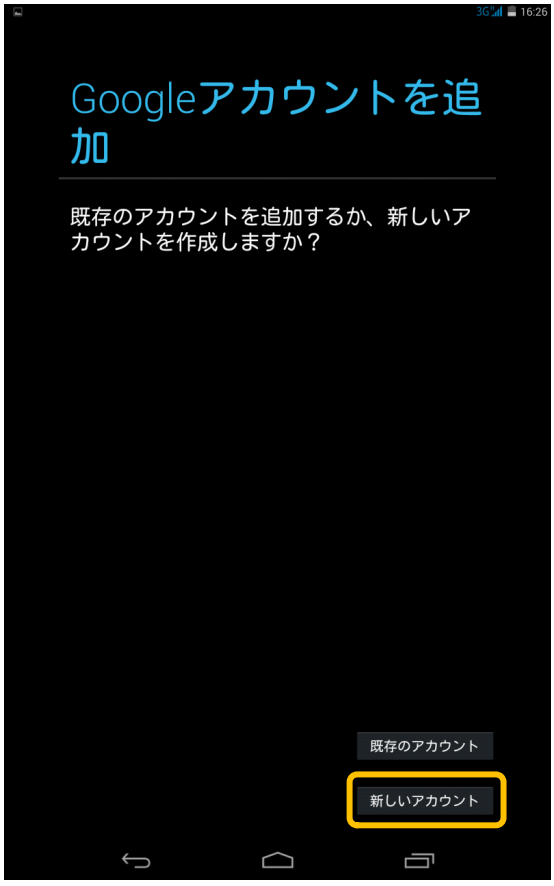
ここでは、本機の「設定」画面から登録する方法について案内しますが、ほかの登録方法でもほぼ同様の操作で登録できます。

※ Google アカウントを新規登録するには、インターネットに接続されている必要があります。

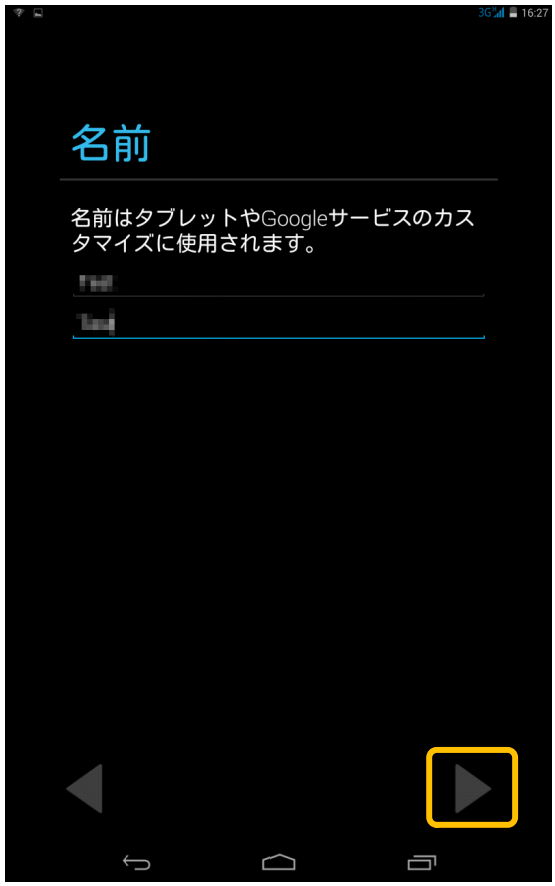
1. ホーム画面からアプリアイコンをタップし、設定アイコンをタップします。
2. 「アカウント」欄から「アカウントを追加」をタップします。

3. 「アカウントの追加」が表示されたら、「Google」をタップします。

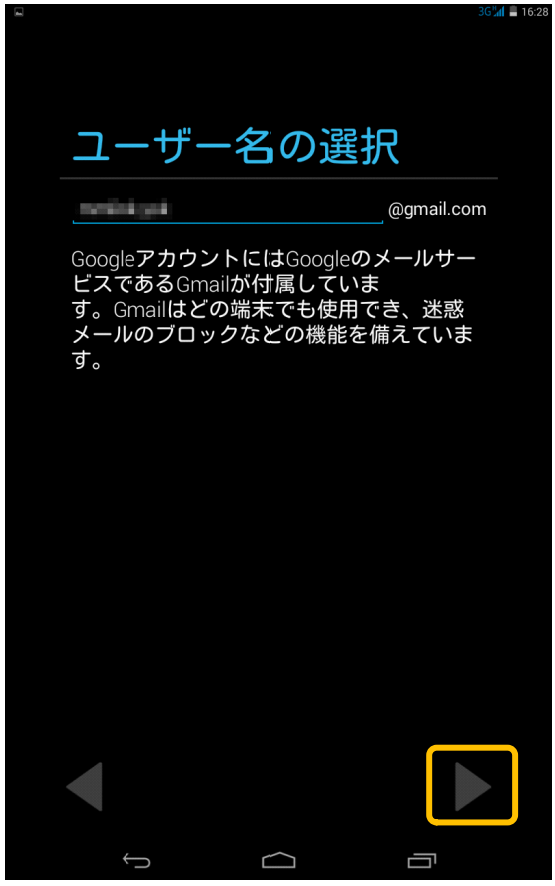
4. 「Google アカウントを追加」が表示されたら、「新しいアカウント」をタップします。



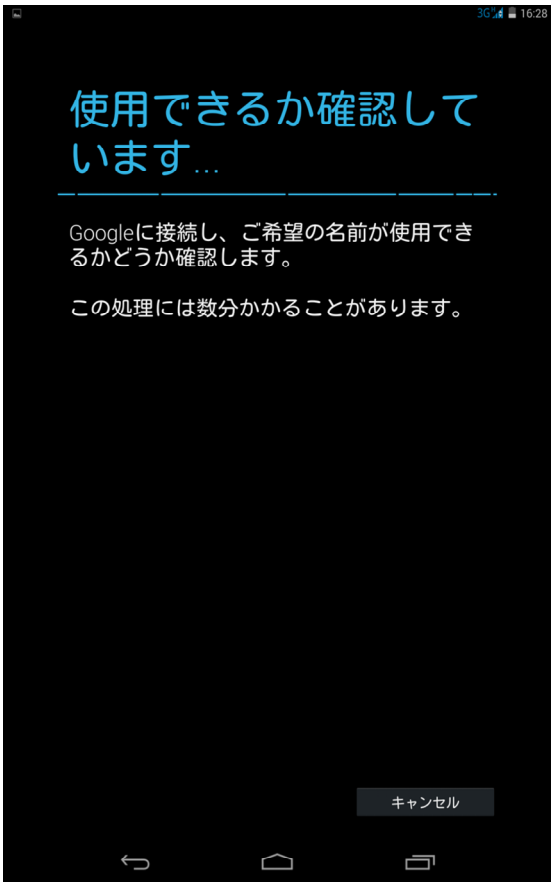
5. 「名前」が表示されたら、「姓」と「名」をそれぞれボックスに入力して ▶ をタップします。



6. 「ユーザー名の選択」が表示されたら、設定したい Gmail アドレスを入力して ▶ をタップします。

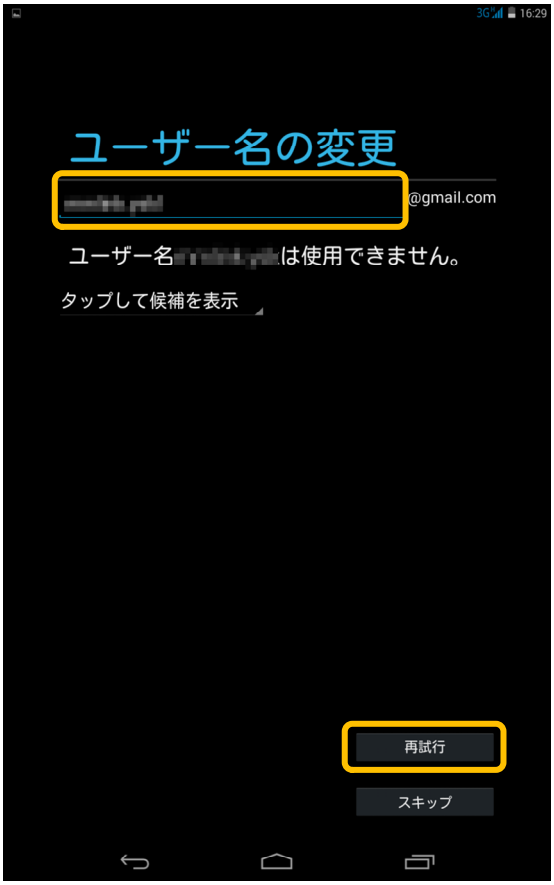


7. 「使用できるか確認しています」という画面が表示されたら、しばらく待ちます。

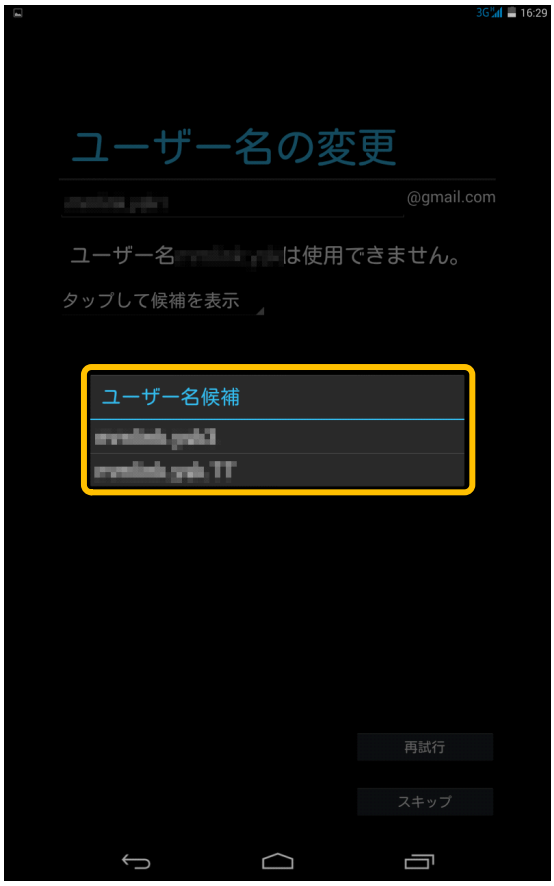


【補足】

手順 7 で入力した Gmail アドレスが既に第三者に取得されている場合、「ユーザー名の変更」が表示されるので、別のユーザー名を入力後「再試行」をタップします。

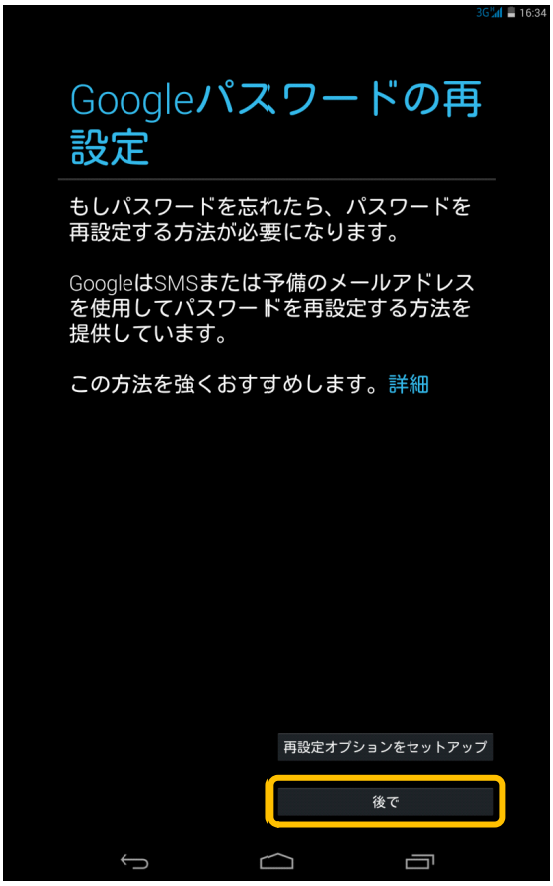


- 「スキップ」をタップすると、Google アカウントの登録が中止されます。
- 「タップして候補を表示」をタップすると、入力したユーザー名と類似した「ユーザー名候補」の一覧が表示されます。お好みのユーザー名がある場合は、一覧からタップして使用します。



8. 「パスワードを作成」が表示されたら、任意のパスワードを「パスワード」ボックスに入力し、同じパスワードを「パスワードの再入力」ボックスに入力して ▶ をタップします。

9. 「Google パスワードの再設定」が表示されたら、「再設定オプションをセットアップ」か「後で」をタップします。
ここでは例として、「後で」をタップします。

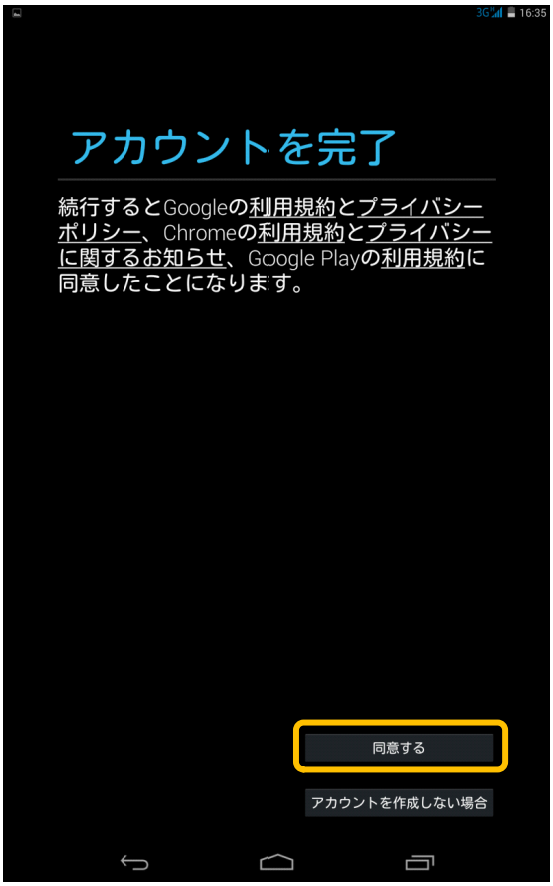


10. 「Google サービス」が表示されたら、必要に応じて以下の項目のチェックボックスをチェックし、▶をタップします。
「Google アカウントにデータをバックアップします。」
「Google Play から最新のニュースやクーポンを受信します。」

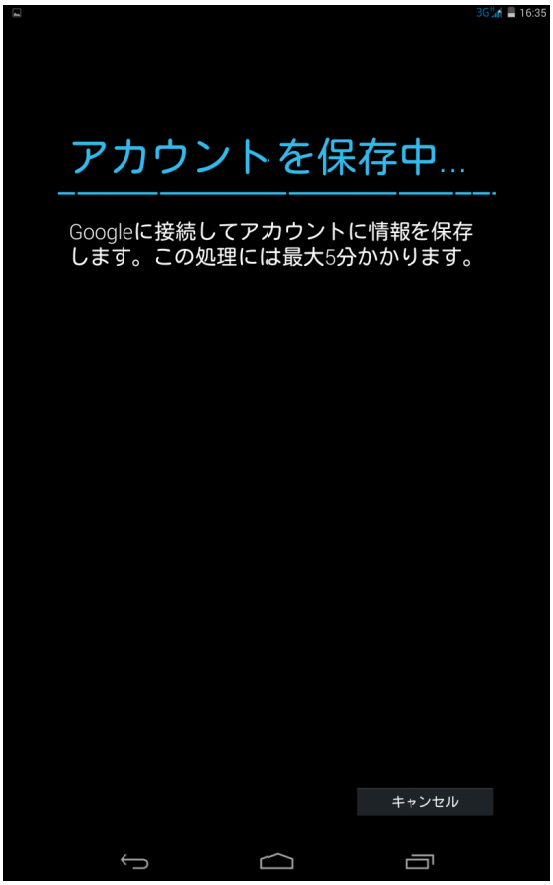
【補足】

- 「Google アカウントにデータをバックアップします。」にチェックを入れると、お持ちの Google アカウントを利用して本機のバックアップを自動で行うことができます。
- 「Google Play から最新のニュースやクーポンを受信します。」にチェックを入れると、Google Play に最新情報がある場合、作成した Gmail のメールアドレスでその情報を受信できるようになります。

11. 「アカウントを完了」が表示されたら、表示またはリンクされている内容を確認して「同意する」をタップします。

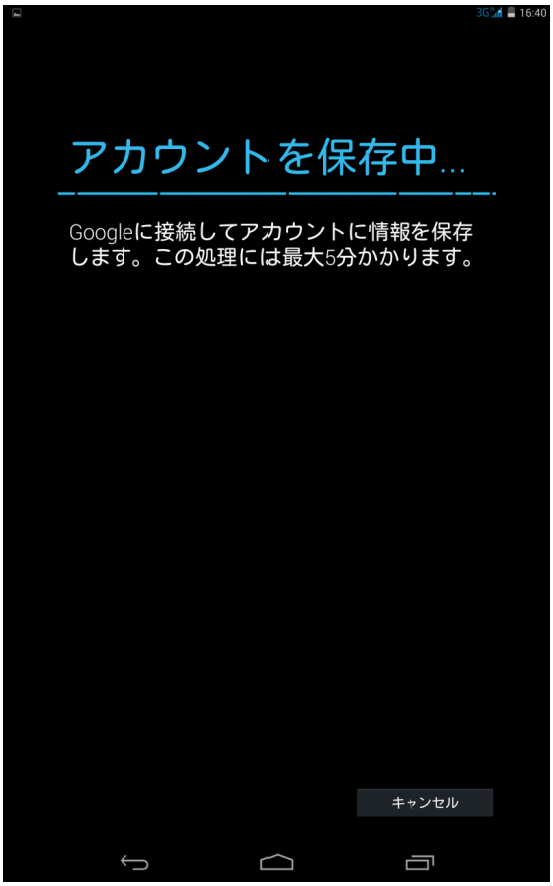


12. 「アカウントを保存中」という画面が表示されたら、しばらく待ちます。

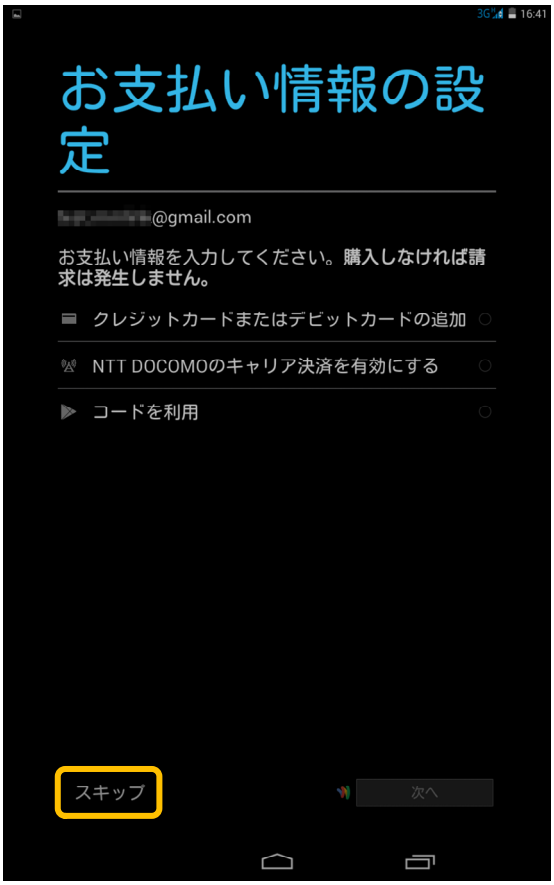


13. 「認証中」が表示されたら、白ボックス内に歪んで表示されている文字を入力し、▶をタップします。
※白ボックス内には、毎回異なる文字が表示されます。

14. 「アカウントを保存中」という画面が表示されたら、しばらく待ちます。



15. 「お支払い情報の設定」が表示されたら、「クレジットカードまたはデビットカードの追加」か「コードを利用」いずれかをタップして「次へ」をタップします。お支払い情報を設定しない場合は、「スキップ」をタップします。
ここでは例として、「スキップ」をタップし、Google アカウントの作成は終了します。



16. 「設定」画面に戻ったら、「アカウント」欄から「Google」をタップします。

17. 「アカウント」欄に、新しく作成した Google アカウントの Gmail アドレスが表示されていることを確認してください。

基本操作

タッチスクリーン

タッチスクリーン利用上のご注意

本機のディスプレイはタッチスクリーンになっており、指で直接触れて操作します。

- 本機のタッチスクリーンを他の電子機器や金属性の物質と接触させないでください。静電気によりタッチスクリーンが誤動作する場合があります。
- 充電中は、タッチスクリーンが反応しない場合があります。その場合は、充電ケーブルを本機から外してください。
- タッチスクリーンの破損を防ぐため、指で強く押したり、尖ったものを押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での動作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着、または結露している状態での操作
  - 濡れた指、または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

タッチスクリーン上の操作

タップする

アプリの起動、メニューアイテムの選択、画面上のキー操作、画面上のキーボードを用いた入力などを行うときに、指先で画面に触れます。

ダブルタップする

表示されている画像やホームページなどをすばやく２回続けてタップし、表示内容を拡大/縮小します。

ロングタッチする

アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で触れたまま移動します。

スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。

スクロールする

表示内容を指で触れながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

フリックする

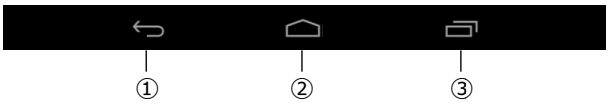
表示内容を指で触れながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

ピンチアウト/ピンチインする

表示されている画像やホームページなどを 2 本の指で触れながら、指の間隔を広げたり(ピンチアウト)、狭めたり(ピンチイン)して表示内容の拡大/縮小ができます。

ナビゲーションボタン

画面下部には、常に 3 つのボタンが付いたナビゲーションバーが表示されています。各ボタンの主な操作は次のとおりです。



①	**戻る** 操作していた 1 つ前の画面が開きます。前の画面が別のアプリの場合でも戻ることができます。ホーム画面まで戻ると、それ以上戻ることはできません。
②	**ホーム** ホーム画面が開きます。ロングタッチして Google へドラッグすると「Google」アプリを起動することができます。
③	**最近使ったアプリ** 最近操作したアプリのサムネイル画像のリストが開きます。アプリを開くには、サムネイルをタップします。リストからサムネイルを削除するには、左か右にスワイプします。

画面の自動回転

本機の向きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わるように設定することができます。

1. ホーム画面からアプリアイコンをタップし、設定アイコンをタップします。
2. 設定画面で「一般機能」をタップします。

3. 一般機能設定画面で「画面の自動回転」をタップし、チェックを入れます。

- 表示中の画面によっては、「画面の自動回転」にチェックを入れても自動で画面が切り替わらない場合があります。
- 地面に対して水平に近い状態では、自動で画面が切り替わらない場合があります。
- 「画面の自動回転」の設定は、設定画面から「ユーザー補助」をタップして表示されるユーザー補助画面でも設定できます。

文字入力

文字入力は、メール作成や連絡帳の登録などで文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使用します。

- ソフトウェアキーボードが表示されると、ステータスバーに が表示されます。
- ソフトウェアキーボードを非表示にするには、画面左下に表示される をタップします。

入力方法(キーボードの種類)を切り替える

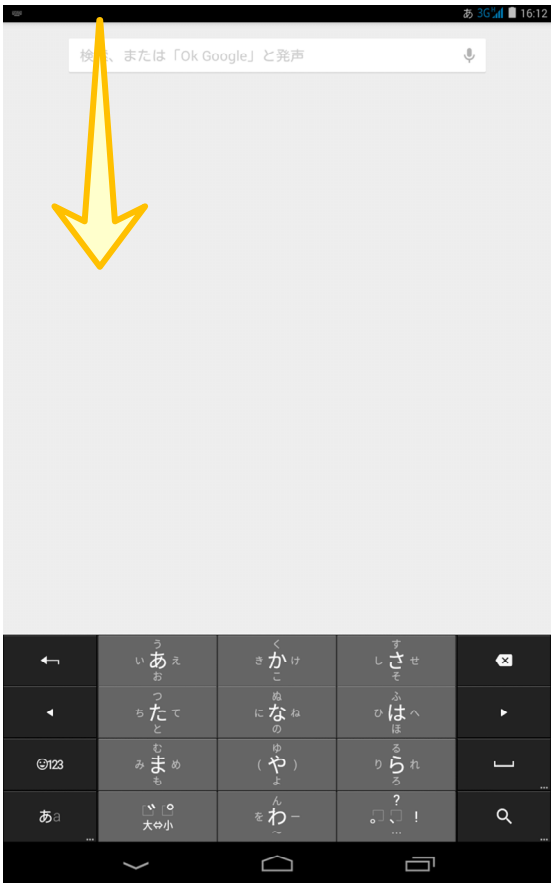
1. ホーム画面からアプリアイコン をタップし、設定アイコン をタップします。
2. 設定画面で「言語と入力」をタップします。

3. 言語と入力画面で「キーボードと入力方法」欄から「デフォルト」をタップします。

4. 切り替えたいキーボードの種類をタップします。

入力方法は、通知パネルからも切り替えることができます。

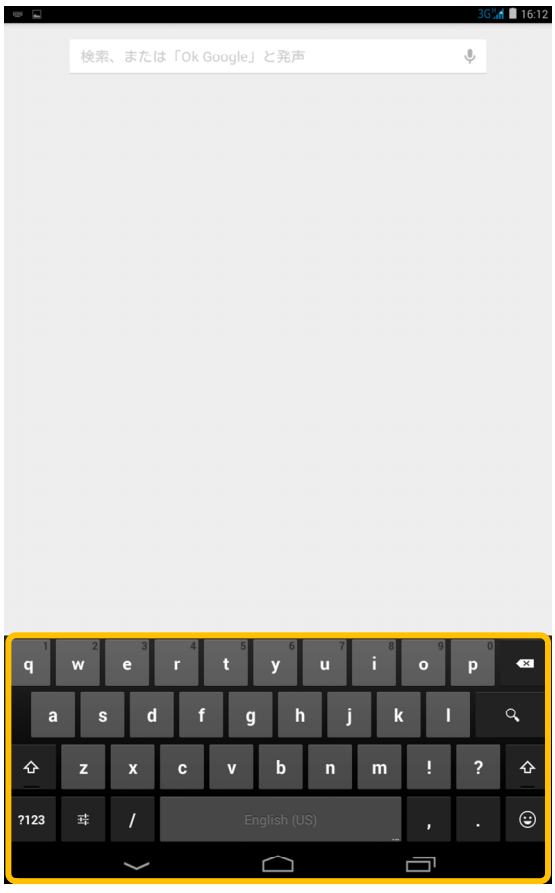
1. キーボード表示中に、画面左上部を下方向にスワイプし、通知パネルを表示させます。



2. 「入力方法の選択」をタップします。

3. 切り替えたいキーボードの種類をタップします。
ここでは「英語(米国)」をタップしたとします。

4. キーボードが切り替わり、切り替わり後のキーボードで入力を継続することができます。



通知とステータス

通知は、新着メール、カレンダーの予定、アラームなどを知らせるだけでなく、実行中のイベント(例えば動画のダウンロード)の状態も示します。

通知が届くと、画面上部にアイコンが表示されます。保留中の通知を示すアイコンは左側、Wi-Fi や電波強度、電池残量などを示すシステムアイコンは右側に表示されます。

システムアイコン

主なシステムアイコンは次のとおりです。

	電池レベル
	充電中
	電池残量が少ない状態
	圏外
	電波検索中
	モバイル通信使用可能
	モバイル通信中
	Wi-Fi 接続中
	Wi-Fi 通信中
	機内モード設定中
	マナーモード(バイブレーション)設定中
	マナーモード(ミュート)設定中
	アラーム設定中
	Bluetooth 機能オン
	GPS 測位中

通知アイコン

主な通知アイコンは次のとおりです。

	新着 Gmail あり
	新着メールあり
	データダウンロード中/完了
	データアップロード中/完了
	カレンダー予定あり
	USB 接続中
	警告/エラーメッセージあり
	アプリインストール完了
	アプリアップデート通知あり
	スクリーンショットあり
	使用可能な Wi-Fi オープンネットワークあり
	キーボード表示中

通知シェード

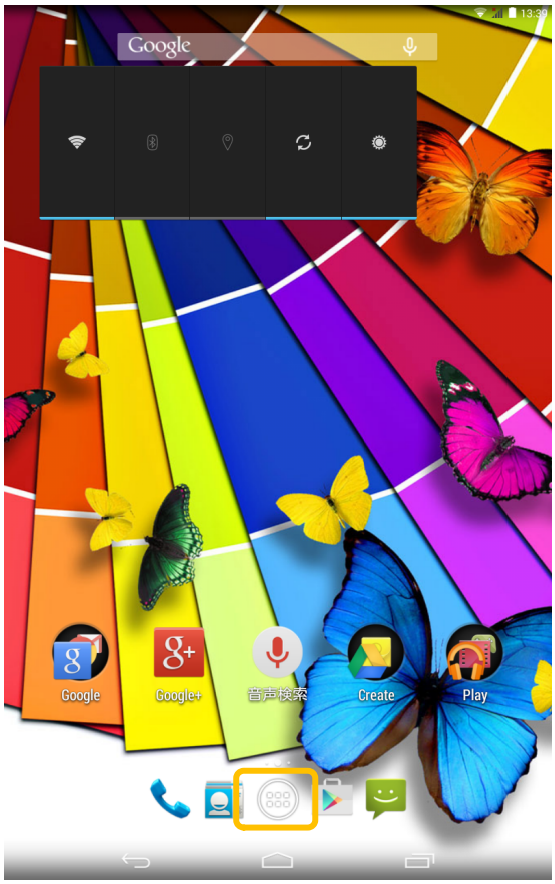
通知アイコンが表示されている場合、通知内容は通知シェードを開いて確認します。通知シェードは画面の左上から下にスワイプすることで表示させることができます。

- **読みたい通知を展開する**
  通知シェードで一部の通知を展開することで詳しい情報(メールのプレビュー、カレンダーの予定など)を表示できます。一番上の通知は、展開できる場合は常に展開されています。通知を展開するには、通知内で下にスワイプします。
- **通知アプリを開いて詳細を確認する**
  通知の関連アプリを開くには、左側の通知アイコンをタップします。一部の通知では、通知内のアイコンをタップすることで特定の処理を行うことができます。例えばカレンダーの通知では、スヌーズ(後で通知)したり他のゲストにメールを送信したりすることができます。
- **アプリの通知設定を管理する**
  アプリの通知設定を変更するには、通知をロングタッチし、「アプリ情報」をタップします。
- **通知を非通知にする**
  通知を見終わったら、左右にスワイプすることで消去することができます。すべての通知を非表示にするには、アイコン をタップします。

設定

設定メニューの表示方法

1. ホーム画面下部のメニューリストからアプリアイコンをタップします。



2. アプリリストが表示されますので、設定アイコンをタップします。

3. 設定画面が表示されます。

Wi-Fi

Wi-Fi ネットワークに接続したり、よく利用するネットワークを追加したり、利用しなくなったネットワークを削除できます。

Wi-Fi に接続する

端末には接続先ネットワークとセキュリティの詳細設定が保存され、圏内に入ると自動的に接続するようになります。

1. ホーム画面からアプリアイコンをタップし、設定アイコンをタップします。
2. 「無線とネットワーク」欄から「Wi-Fi」をタップします。

Wi-Fi がオフになっている場合、Wi-Fi スイッチ(下図枠内)をタップしてオンにします。

・Wi-Fi がオンの状態

3. 保存されている利用可能なネットワークのリストが表示されます。

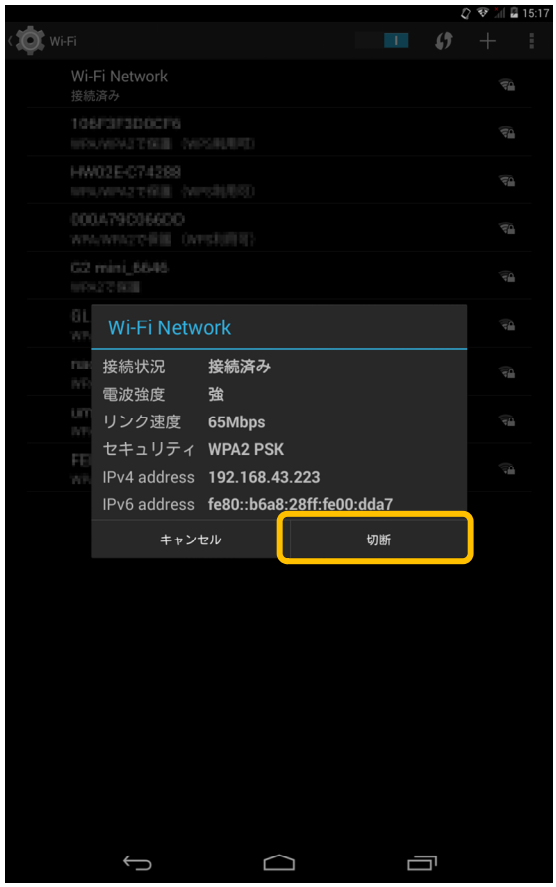
4. 利用可能なネットワークのリストから、接続するネットワーク名をタップします。必要に応じてパスワードを入力し、「接続」をタップします。

5. ネットワーク名の下に「接続済み」と表示され、Wi-Fi での通信が可能になります。

6. Wi-Fi 接続中は画面右上に が表示されます。
7. 一度接続すると設定が保存され、次回からは端末がネットワーク圏内に入ると自動的に接続するようになります。

Wi-Fi を切断する

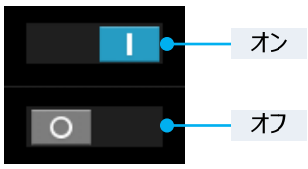
1. 接続中のネットワーク名をタップすると接続情報が開きます。
2. 「切断」をタップします。



3. 画面右上の の表示が消え、Wi-Fi ネットワークから切断されます。

Wi-Fi 機能のオン/オフを切り替える

Wi-Fi 機能は Wi-Fi スイッチをタップすることでオン/オフを切り替えることができます。



Wi-Fi スイッチは「無線とネットワーク」欄の「Wi-Fi」、もしくは Wi-Fi 設定画面にあります。

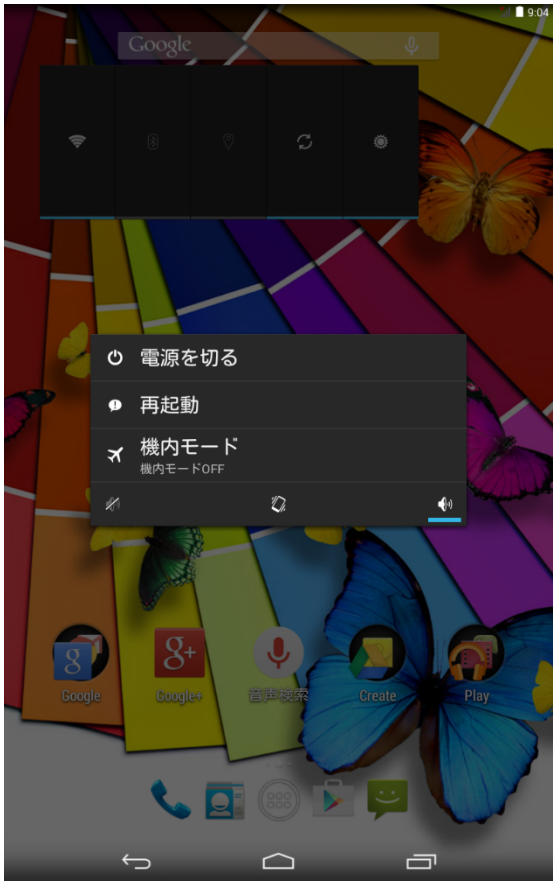
マナーモード

マナーモード(音とバイブレーション)の設定ができます。

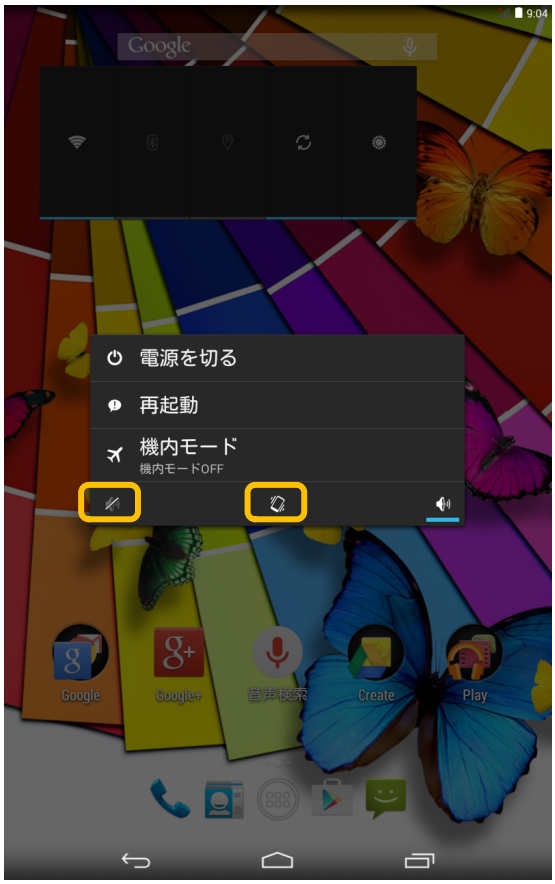
- マナーモード設定中でも、シャッター音は消音されません。

電源ボタンによる操作

1. 電源ボタンを長押しすると下の画面が表示されます。



2. 画面の もしくは をタップします。



：音量が 0 になり、バイブレーションが有効になります。

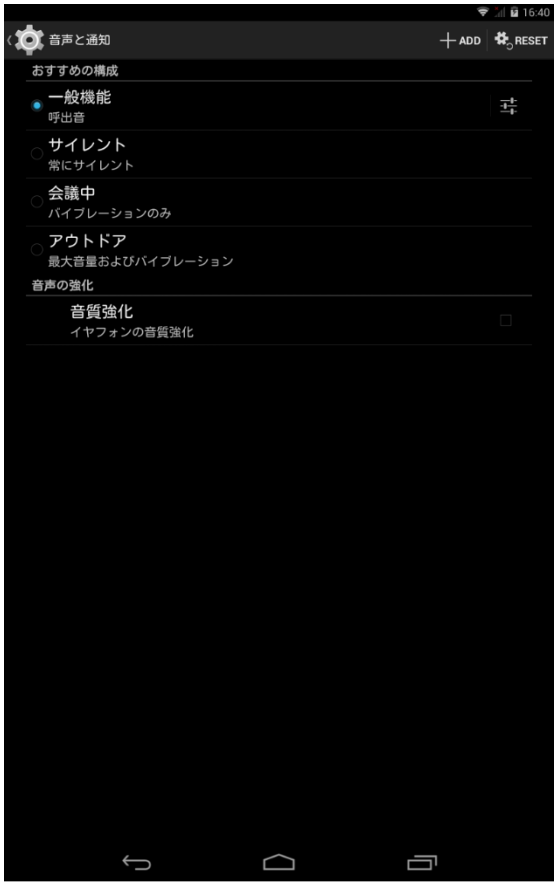
：音量が 0 になります。バイブレーションは動作しません。

3. マナーモードを解除するには をタップします。

「設定」による操作

1. ホーム画面からアプリアイコン をタップし、設定アイコン をタップします。
2. 「端末」欄から「音声と通知」をタップします。

3. 「音声と通知」が表示されたら、「おすすめの構成」から着信音とバイブレーションの選択を行ってください。



一般機能

にて設定した着信音量とバイブレーションで動作します。

サイレント

着信音量が 0 になります、バイブレーションは動作しません。

会議中

着信音量が 0 になり、バイブレーションが有効になります。

アウトドア

着信音量が最大になり、バイブレーションも動作します。

音量ボタンによる操作

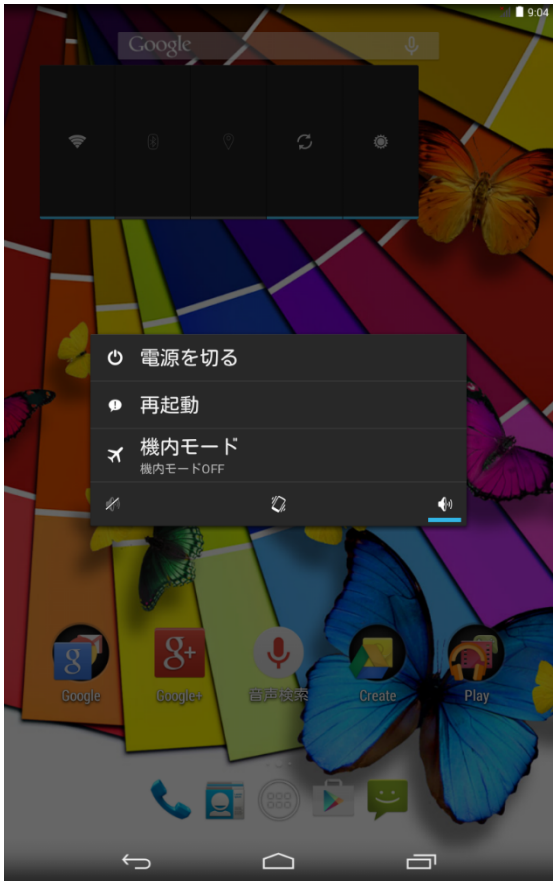
1. 音量＋/－ボタンを押すことで着信音量を調節することができます。
2. 音量－ボタンを押し着信音量を 0 にすると「会議中」モードになります。
   「会議中」モード時に音量＋ボタンを押すと「一般機能」モードに戻ります。
3. 「会議中」モード時に音量－ボタンを押すと「サイレント」モードになります。
   「サイレント」モード時に音量＋ボタンを押すと「会議中」モードに戻ります。

機内モード

機内モードをオンにすると、Wi-Fi がオフになり、モバイルネットワークと Bluetooth が無効になります。

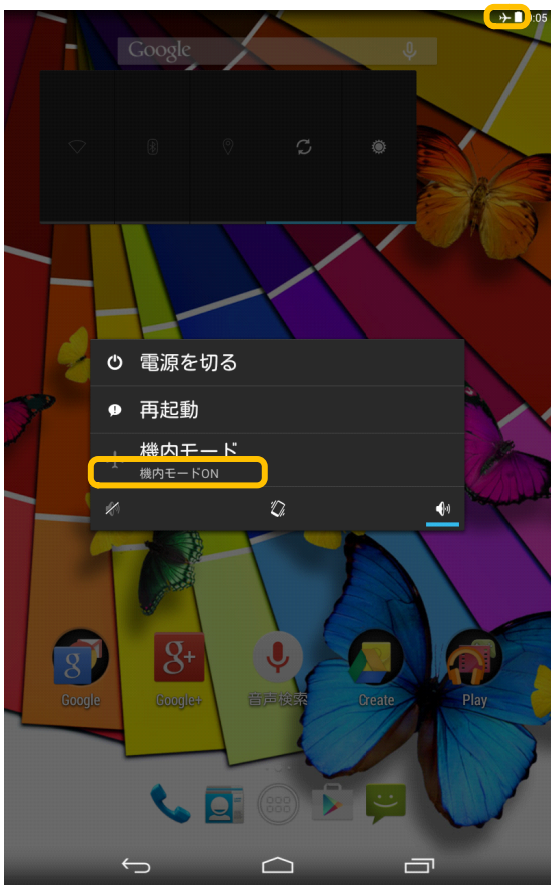
電源ボタンによる操作

1. 電源ボタンを長押しすると下の画面が表示されます。



2. 画面の「機内モード」をタップします。

3. 機内モード中は「機内モード ON」と表示され、画面右上に が表示されます。



4. 機内モードを解除するには「機内モード」をタップします。
「機内モード OFF」と表示され、画面右上の が非表示となります。

「設定」による操作

1. ホーム画面からアプリアイコン をタップし、設定アイコン をタップします。
2. 「一般」欄から「一般機能」をタップします。

3. 「一般機能」が表示されたら、「機内モード」をタップします。

4. 機内モード中は、「機内モード」にチェックが入り、画面右上に が表示されます。

5. 機内モードを解除するには「機内モード」をタップします。
「機内モード」のチェックがはずれ、画面右上の が非表示となります。

主な仕様

本機の主な仕様は以下の通りです。

画面	8 インチ 1280×800
外形寸法	約 208(H)×127(W)×8.3(D)mm
重量	347g±3g
色	前面パネルフレーム（黒） 背面パネル（白） 側面フレーム（白、左右と下面は銀色「メタリック調」）
カメラ	本体前面(有効画素数 約 30 万画素) 本体背面(有効画素数 約 500 万画素)
CPU	MediaTek MT8382-1.3GHZ Dual core
RAM	1GB
内臓フラッシュメモリ	Nand Flash 8GB （*1）
センサー	加速度センサー
無線	Wi-Fi 802.11b/g/n Bluetooth 2.0
携帯ネットワーク	GSM/EDGE：850/900/1800/1900MHz W-CDMA/HSDPA/HSUPA：2100/800MHz
接続	USB2.0(micro-B)×1、ヘッドホン端子(3.5mmΦミニジャック)×1
位置情報	内蔵 GPS チップ(GPS+AGPS)
カードスロット	microSD カードスロット(32GB まで)×1、SIM カードスロット×2 （*2）
バッテリー	4000mAh リチウムイオン電池
プラットフォーム	Android 4.4

*1 内蔵フラッシュメモリの容量は 1GB を 10 億バイトで算出しています。

*2 同時に 3G 通信利用可能な SIM カードスロットは 1 つのみとなります。
SIM カード 2 枚同時に装着した場合は 1 枚は 3G 通信、1 枚は 2G 通信での使用になります。

Google、Android、Gmail、Google マップ、Google Play、YouTube、Google+は Google Inc.の商標または登録商標です。
その他、記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
本文中の各社の商標または登録商標には、TM 及び®マークは表示しておりません。

輸入元　安川情報システム株式会社
製造元　ThinPAD International CO.,LTD